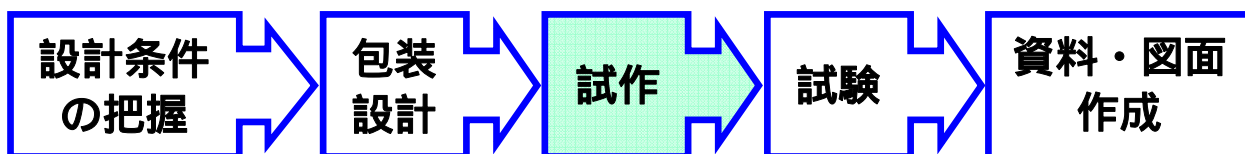


### アイロップの包装設計システム

#### 第3回 試作

「包装設計システム」の第3ステップ「試作」をご紹介します。包装設計したものを、実際に作成して、設計通りにでき上がるかどうかを確認するのが「試作」というステップです。



#### 「試作」

アイロップには、段ボールや各種緩衝材の加工、木材や鉄の切断などができる色々な試作設備を設置した試作室があります。

試作をする目的は

- ▶お客様に実際に出来上がったものをご確認していただく
- ▶試験で検証する

ことですが、机上で設計した包装仕様を試作し、実際に形としてできると、様々な問題が出てくる場合があります。

- ✓ 寸法が大きすぎて扱づらい
- ✓ 段ボールブロックの組み立てが一人ではできない
- ✓ 偏重心になってしまう
- ✓ 量産時には作れない
- ✓ . . . . .

これらの問題を解消して、できるだけ適正包装に近づけるために、「試作」は欠かせないステップです。

また、実際に試作することによって、机上では考えつかなかった、より良いアイデアが生まれてくる場合もあります。最近では、3DCADなどのIT機器が発達して、画面上で立体的に物を見ることはできるようになりましたが、大きさや



【試作室の様子】



【プラスチックの加工】



【CAMでの試作】

重量のイメージがつかみにくく、まだまだ実物にはかきません。

昔は、カッターやスケール、金尺を持って試作していましたが、今はIT機器の発達によりCADデータをCAMでそのまま試作加工する機会が多くなっています。ずいぶん効率的になりましたが、その分手作りの楽しさが減り少し寂しい気もします・・・。